

# 成人式を終えた歌舞伎傳承会

新琴似歌舞伎傳承会 事務局長 みやざき よしはる 宮崎 義晴

130年前は原生林に覆われ動物たちの住みかでありました新琴似。明治20年5月、第一陣が北方の防衛と開墾を兼ね備え、九州地区を中心に屯田兵が編成され入植したこの地域。今では、札幌市郊外のベッドタウンとして目覚ましい発展を遂げております。

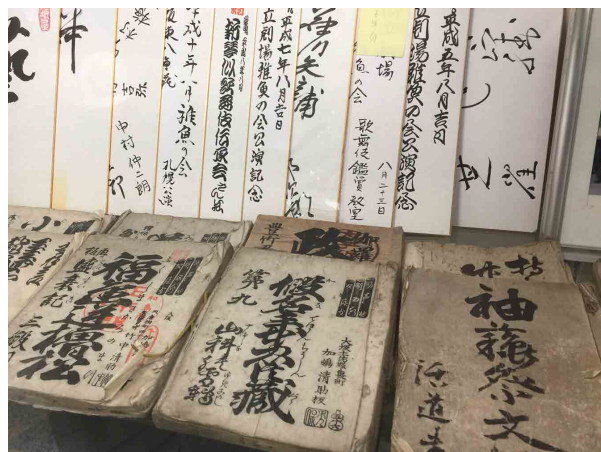
入植当時は、朝日が昇ると同時に馬と一体になり陽が沈むまで開墾いちずな生活であったことと思われます。時には、男性たちは北方の防衛訓練に召集され、後を女性と子どもたちで留守を預かり開墾に精を出されたと聞かされております。ゆえ、娯楽といわれるような楽しみは乏しかったと思われます。

新琴似歌舞伎が産声をあげたのは明治30年ころ。鳥取県から開拓民として父長次郎と共に入植された田中松次郎を中心とした地域の若者達が、地元の祭典時などに神社境内で歌舞伎芝居を演じ始めたことが新琴似農村歌舞伎の発祥です。娯楽の乏しかった当時では画期的な芝居として、人々の人気を博することになりました。



田中松次郎

当時は「農村文化のはしり」と持てはやされ、一座の団員も多く、松次郎さんは座長として芸名を「松楽」と名乗り、自費で常設の歌舞伎小屋（若松館＝明治43年12月完成）を建設するほどの意気込みで繰り広げられました。観覧料は無料で、いわゆる「花」「投げ銭」といった寄付で経費を賄い、収支は結構成り立っていたようです。



当時の歌舞伎の台本

しかし、年号も明治から大正へ変わると、映画が新しく登場したことにより、観客の多くが歌舞伎から離れ映画へと興味が移行し、大正初期、惜しまれつつも終えんを迎えました。

以来長い眠りについていた、かつて地域で栄えた偉大な農村芸能文化「新琴似農村歌舞伎」を再びよみがえらそうと、平成5年7月、新琴似連合町内会の役員を中心に伝承と保存活動を目的として「新琴似歌舞伎傳承会」を設立、平成8年3月地域の願望や北区の物心両面にわたる支援など多くのご協力をいただき、80年振りの待望の復活公演は紆余曲折をたどりながら実現する運びになりました。

平成28年度には復活20周年記念式典や記念公演を開催することができ、ようやく20歳の成人式を迎え会員一同で喜びを分かち合ったところです。

この20年間、数々のイベントや慰問活動、テレビやラジオ番組へ出演、取材も受けてまいりました。特に平成14年度からは地元市立新琴似中学校のご協力ご理解を賜り、毎年1回、会員指導・演出による中学生対象の「歌舞伎講座」を開催しています。その内容は、①地域の開墾の歩みを知り、郷土に対する愛着心を育む。②地域の伝統芸

## ◆成人式を終えた歌舞伎伝承会

能の果たしてきた歴史的な役割を学び、伝承活動への興味関心を高める。③歌舞伎の実技や関連の指導に参加し、歌舞伎の醍醐味を味わい、その造詣を学ぶ。④日本古来の伝統文化・芸能へ関心を持たせる、などをねらいとした活動を実施するものです。学校・生徒や出演生の保護者からも好評を得ており、平成 30 年度で 13 回目を迎え 15 名の中学 2 年生が参加を希望しております。



中学生対象歌舞伎講座

また当伝承会では会員も僅少ではありますが増加の傾向をたどり、喜ばしい限りです。

平成 29 年度の当伝承会の公演では、歌舞伎に精通した一会員の注脚（脚本を一部脚色）による新しい演目「八笑人 両国橋番外 お化け尽くし」に取り組みました。芸者の幽霊とそれを何とか成仏させようと奮闘するお化けの掛け合いを現代風に脚色した喜劇作品を伝承会と新琴似天舞龍神の会員が共演し、ユーモアあふれる名セリフと名演技に会場は笑いと大喝采で大いに盛り上がりました。



八笑人 両国橋番外 お化け尽くし

平成 30 年度は、その続編ともいえる「八笑人 両国橋番外 お化けの嫁入り」を会員と大学生の共演により第 24 回新琴似文化振興会芸能部会主催「芸能のつどい」で披露しました。芸者の幽霊の娘をヒロインとし、その嫁入りに向けてお化けたちが様々な知恵を絞るという内容に、またまた観客の大反響を呼び起こすことができ、保存と伝承活動に専念している姿の一端をアピールすることができました。

今までの公演では必要な衣装・小道具・舞台背景などの制作等は、全て専門家に委託・借用をしておりましたが、これらの物語を作り上げるに当たっては、それら公演に必要な諸道具等は、会員の熱意と創意・試行を繰り返し整えました。会員の努力と絆の強さが如実に表れた飛躍的に変貌を遂げた作品となりました。

今、素人集団で発足した新琴似歌舞伎伝承会も成人式（20 年）を終え、人生に例えればこれからは成年期へと入ります。

振り返りますとこの 20 年間は、行政のご支援また多くの方々からご指導、温かいご助言、親身なご協力を仰ぎつつ、短いようで長く、喜びの中での苦しみ、苦しみの中での喜びを味わうなど繰り返した歳月でありましたが、何よりも会員一人一人が大切に伝承と保存の使命感を自覚し耐えしのぎ持続してきたことが伝承会の「姿」と「誇り」です。

今も難題は山積しております。が、いままでの貴重な体験を礎に新しい試みも取り入れ、解消をしてゆくうえにもこの「姿」と「誇り」を忘れることなく、更に会員一同心機一転、会の発展に努めてゆく所存です。

新琴似歌舞伎伝承会では新規会員を募集しています。年会費は4,000円です。詳しくは下記までお問い合わせください。

○お問い合わせ

新琴似歌舞伎伝承会  
TEL. 011-764-8804  
(プラザ新琴似内)